

---

# ありがとうと言えるまで

1987

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありがとうと言えるまで

### 【コード】

N1992C

### 【作者名】

1987

### 【あらすじ】

今の自分の思いを文字にしてみたい。これが私の素直な考え…。  
19歳の学生の足踏みです。

私は、専門学生に通っている19歳学生。

あたりまえ。

今私を悩ませる一番聞きたくない言葉。

親に学費を出してもらって、専門学校に通えてる。

私が今しないといけないことは、あたりまえのことは、毎日学校に通うこと。

それが今出来ないでいる。

元から無欠席を目指すような子ではなかったが、こんなに学校に通うことが出来ない自分がすごく嫌だ。

勉強も嫌いでは無いし、学校には友達がいる。

学校に行って、『体調が悪いの?』と聞かれてもかえす言葉が見つからない。

『何か悩んでるなら相談のるよ。』友達や先生の優しい言葉。胸に突き刺さる。

相談できるわけがない。自分自身が何に悩んでるかが分からないのだから。

欠席するためには、何か理由が必要。

確かにそれがあたりまえの考えだろう。

だから前は、理由を考えて、言い訳してた。

今思いつく言い訳は、自分を甘やかすものばかり。

それが、自分で分かるから口になんて出せない。

例えば：友達が、体調が悪いのに頑張って学校に来るのを見たり、

将来のために頑張る姿を見ると、私はダメな人間と言われている気がする。

そんなの言い訳でもない。ただの弱音だ。

家に引きこもっているわけではない。

学校を休むくせに、バイトは行くし、地元の子と遊びに行っている。矛盾だらけの生活。

単に自分がだらけてしまったといった方が正しい。

答えが分かっているのに、道は見えているのに進もうとしないのである。

アルバイトの存在は私にとつたら、とてもとても大きい。

『バイトやめて学校を真面目に行きなさい。』親はそお私に言いたいだろう。

現にバイトを辞めると、何度か言われている。

その気持ちは理解できるし、言われて当然だ。

親の考えなんて分かっている。

家では親に甘えて、学校では人の優しさに甘えた生活。

この生活から抜け出したい。

当たり前といわれるものから逃れようとしてる私に、自立の道は歩めるのか。

すぐく試してみたくなった。

大人になりきれない私を、自分で大人にさせる。

挫折を繰り返すだろう。

後悔することもあるだろう。

甘えた生活から抜け出せた時、感謝の気持ちで心がいっぱいになると思う。

その時は、自分の想いを思ったまま言葉にして言いたい、伝えたい。  
きつと一言目は……『ありがとう。』

(後書き)

この作品の続きを書いていきたいと考えています…。

呼んでいただいた方：ありがとうございます。

素直な感想を是非聞かせてください。

お願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1992c/>

---

ありがとうと言えるまで

2010年10月21日23時26分発行